

## 恐ろしい地球的出来事：集団覚醒への引き金？（抄）

【訳者注】ここに言われているような「巨大な規模の組織化された犯罪の存在」に、我々はやっと気づくようになった——と信じたい。それに気づかなければ我々は団結して行動しようがない、とこの論文は言っている。しかしメディアと一体の我々は、いまだに秘密犯罪集団の存在を認めず、彼らの命であった秘密性が保てなくなったというのに、逆に、我々がそれを守ってあげている形になっている。これがわが国の実情である。なんと情けない話であることか！ 彼らはアメリカではない。「アメリカを跪かせ」アメリカを乗っ取り、アメリカを指図して世界を乗っ取ろうとするごく少数の者たちである。そのことがわかれば、プーチンの役割もわかる。プーチンが、この巨悪を包囲して滅ぼす「同盟」の先頭に立っているのだと、ウィルコックは言っている。

By David Wilcock

August 24, 2015, Divine Cosmos



・・・(冒頭から数ページ省略)

### これは癒しを創り出すだろう

どちらにせよ、こうした落胆させる出来事は、実は我々をある解決へと向かわせるものだ。

こうした出来事の多くがどんなに不思議で、気力をなくさせるように見えようとも、ポジティブな何ものかが、ここから飛び出してくると信ずべきあらゆる理由がある。

我々は、この地上に、ある種の非常にネガティブな人々がいるという事実を、変えることはできない。地上の、文字通り、何十億という人々を殺したがっている者たちがいる。

彼らはそこにいる——現実の存在として。

そして彼らは、自分たちの目標を達成するために、驚くほど懸命に働いてきた——想像を絶するほど広範囲で浸透する力をもって。

これらの出来事こそ、我々が最終的に暴露すべきもので、我々は、彼らのネガティブなアジェンダを永久に敗退させなければならない。

## あらゆる人々が、これを知るようになると抵抗を経験する

あらゆる人々が、この情報に直面するにつれて、最初の抵抗を体験する。それは非常に自然なことだ——不可避とは言わないまでも。私自身、確かにそれを経験している。

私は、数か月とは言わないが、数週間、深い悲しみとトラウマを感じながら過ごした——極端な神経症的恐怖を感じながら。

しかし、ひとたびそこを通過して本当にそれを把握すると、なぜそれが初めに見えなかったのか不思議に思えてくる——そのしるしが周囲のどこにでもあるので。

その証拠は膨大で、圧倒的で、明白である。恐怖が、現実を受け入れることから我々を引き止めている。

我々の毎日見る多くの見出しの、あとにこぼれた“ビーズ”を貫いて通す、一本の隠れた糸がある。

現実を学んで受け入れること、そしてそれを食い止める、可能なあらゆることをすることが、覚醒の過程のカギとなる。

## 最後の苦難の過程

あなたが今から読もうとしていることは、恐ろしく思われるかもしれない。しかしクリックして逃げないで、最後まで私についてきていただきたい。

長いこと我々の首を絞めてきた紐を断ち切るために、地球的に起こらねばならない最後の「苦難の過程」を、我々は目撃するかもしれない。

今は、「何かが間違っていることはわかっているが、誰かがそれに対処してくれるだろう」と言っている時ではない。

もし、まだわからないと言われるならば、それは我々である。

今は団結のときで、分裂のときではない——とりわけこれだけ時が近づいていけば。

これほどの巨大な規模の組織化された犯罪の存在は、我々が相互の食い違いを整理し、互いの利益のための解決を目指して進むことを要求する。

## いよいよ明瞭になってきた

秘密の地球政府シンジケート、すなわち「陰謀団」と、平和のために働くある国際的同盟の間の、これまで見えなかった経済戦争が、非常に明瞭になってきた。

異なったアジェンダをもつ多数のネガティブな党派がある。彼らに常に共通している一つのこと、それは秘密性である。

彼らは陰に隠れて決着をつける。しかし彼らの誰も、このゲームが終わってほしいとは思っていない。しかしひとたび一般大衆が真相を発見すると、彼らは慌て出す。

現在、かつて危険な状態にあったグループや党派にいた者たちが、離脱し、地上に平和と繁栄を取り戻すために戦っている。

人々が、このエスカレートするインサイダー戦争の“証拠がない”と言うとき、彼らは単に、点と点をつないでみる余裕がなかったのである。

我々は、確かな証拠の集積をかなり前から静かに築いてきた——適切な時期を待ちながら。

過去数週間に起こった出来事から、時は今だということが明らかになった。

**共通のテーマがある・・・暗い、しかし世界の実情が暗いのだ**

この研究を一貫するテーマは、西側の金融および政治制度が、あるルシファー教の陰謀団の支配下にずっとあったということである。

他の陰謀集団で、キリスト教徒を自称し、声高にルシファー教徒に反対している者たちもいる。しかし彼ら自身も、非常にネガティブなことを行っている。

あなたはキリスト教や宗教一般に、愛憎両面の感情をもっているかもしれない。しかしルシファー教徒は、自分の信仰体系に熱烈に献身している。

彼らはルシファーを善の側と考えている。彼らはそれを深く熱烈に信じている。

彼らは、宇宙は残酷で恐ろしい場所あり、神が我々を見捨てたと感じている。

彼らの宗教では、ルシファーは我々に、神のいない所で神になれと教えていると考える。

そして、ひとたびあなたが神になれば、あなたのエリート仲間の外にいるすべての人々は、何の価値もない敵である。

我々は、ビデオゲーム、映画、音楽ビデオ、その他、スーパーボウルのハーフタイム・ショーのような公的な儀式による、プロパガンダの爆撃を受けている。

## **確かに安っぽいものだが、それが真実だ**

ひとたび真相が広いレベルで拡散すれば、人々は、こんなグループが現実存在して、これほどの力を得ていたのかと、本当にショックを受けるだろう。

それは確かに、B マイナスの映画のように見える。それはわかる。ほとんど安っぽいとも言える。しかしそれが真実であり、現に起こっているものだ。

そして、こういう連中に立ち向かえば容易く殺される——非常に容易く。だからこそますます興味をそそる。

あなたは、そんなことはすべて馬鹿げたことだと思えるかもしれない。しかし心のどこかで、自分が狙われることはない、自分を安心させようとしているだろう——万が一それが本当でも。

「政府という怪物がベッドの下にいる」という、深い恐怖を与えるように計画された、恐ろしい映画がたくさんある。

有難いことに、道徳的な生活をしている人々に対しては霊的な保護がある。

「陰謀団」は、それが可能ならとうの昔に、私や、私のような仕事をする人々を、殺していたであろう。しかし彼らは、許されたことしか行うことができない。

運動場には“大きい子たち”がいて、たえず彼らが一線を超えないように注意している。

「陰謀団」のメンバーはみなこれを知っていて、それを“ザ・ルール”と呼んでいる。

## 彼らは不気味な目標をもっているが、反対者側にうまくやられている

これらさまざまな「陰謀団」グループは、「同盟」によって“秘密の地球政府シンジケート”と呼ばれ、権力を増強するためにニセの災難を起こしてきた。

彼らは問題を創り出し、その対策を考え、それから、彼らの目標に都合のよい解決策を提供する。

例えば、彼らが我々から銃を取り上げようとしたとしよう。彼らは乱射事件を起こした上で、この暴力を利用し、政府以外は銃を使えないようにする。

もう一つの古典的例として、ヒトラーが自分自身の放送局を爆撃し、これをポーランドのやったことだと主張し、それから、これを口実にして彼らを侵略した。

ニュルンベルグ裁判の中で、ナチの兵士たちが事の一切をばらした。これは「グライヴィッツ事件」と呼ばれている。[https://en.wikipedia.org/wiki/Gleiwitz\\_incident](https://en.wikipedia.org/wiki/Gleiwitz_incident)

## 天候戦争は、彼らの現行の戦略のもう一つの例

これらネガティブな戦略は非常に効力があり、たえず使われている。

「陰謀団」は死と恐怖を崇拜し、彼らの望む結果を得るために災禍を創り出す。

彼らの創り出した災禍は、偽のテロ攻撃を含め、いろんな種類の形を取る。

天候戦争は彼らのやっていることの、もう一つの重要な一面で、ハリケーン、台風、地震などを、高度な技術を駆使して創りだしている。

これは“ニセ科学”のように見えるかもしれないが、確かに本物である。

それは長年の間、極秘にされてきたが、基本的な原理は子供でも理解できるほど単純である。

## ある国際的な同盟が「陰謀団」を破産させた

有難いことに、「陰謀団」は効果的に破産させられた。それがこの研究の、我々の物語のもう一つのカギとなる部分である。

国際的な同盟が、静かだが組織的な努力によって、「陰謀団」の利用できる金融のあらゆる方途を遮断している。

ロシアがその団体をリードしている。昨年冬の奇怪なガソリンの値下がりには、「陰謀団」がしくじったもう一つの、彼らを崩そうとする壮大な試みだった。

私はガソリン価格が急落したとき、事態がヒートアップしてきたのを知っていたが、それは「陰謀団」にとって自殺的な冒険だったからである。

彼らはオイル・マネーを、絶対的に必要としていたことも事実である。

インサイダーたちが私に話してくれたのだが、プーチンも中国も、このようなことが起こると予想して、何年もかかって金準備高を増やしていた——そしてその通りになった。

## 新聞見出しの若干のコレクション

お喋りはこれくらいにして、最初のデータ集積を示し、それに即して論ずることにしよう。

ここで、いくつかのオードブルのメニューを提供するので、あなたはこれらを、ご自分のブログや投稿やビデオに、また目配せしながら、静かな会話に使っていただくこともできる。

次にあげるのは、2014年9月後半から、2015年2月半ばまでに何が起きたかを示す、我々

の集めた最も注目すべきいくつかの見出しである。

もしあなたが、これらのリンクの背後の裏話やコンテキストに興味があるなら、私は [Gaiam TV の Wisdom Teachings](#) のエピソードに、すべて載せるつもりである。

<http://www.wisdomteachings.com/>

「同盟」と陰謀団の目に見える公的な戦いは、実は 2015 年 6 月に始動した。それはこの導入セクションの後で論ずることにする。

我々はこのデータを、4 番目のリンク以下と、この冒頭部分以外は、日付順にあげることにする。[訳者：翻訳ではいくつかの項目を省略した]

ここであなたが目にするもののいくつかは、陰謀団が設けた、以前は通れなかったメディアの防火壁を、「同盟」が押し開けることによって得た見出しである——

9・21 : NY タイムズ : 「ISIS と CIA はつながっているのか？」

[http://www.nytimes.com/2014/09/21/world/middleeast/suspicious-run-deep-in-iraq-that-cia-and-the-islamic-state-are-united.html?\\_r=0](http://www.nytimes.com/2014/09/21/world/middleeast/suspicious-run-deep-in-iraq-that-cia-and-the-islamic-state-are-united.html?_r=0)

9・24 : 「HSBC と JP モーガンの資金援助によるテロリズム」

<http://xrepublic.tv/node/10563>

9・24 : 「トルコ TV が ISIS の首刎ねをやらせた、ビデオ証拠」

<http://www.infowars.com/evidence-turkish-tv-staged-beheadings/>

7・11/15 : 「やらせの ISIS 首刎ねビデオが、マケインのスタッフから漏れる（百聞は一見に如かず）」

<http://www.veteranstoday.com/2015/07/11/staged-isis-beheading-video-hacked-from-mccain-staffer/>



9・25 : 「Greenwald が、NSA のジャーナリスト殺し計画を暴露」

<http://www.infowars.com/cointelrpo-revisited-greenwald-exposes-nsa-agenda-to-destroy-journalists/>

ごく最近の記事で、グリーンワルドは、JTRIG がニセ旗作戦を用いて、「インターネットにあらゆる種類のニセ資料を注入し、その標的の評判を落とそうとした」と説明している。[ Joint Threat Research Intelligence Group は、政府諜報機関]

情報部の作戦は、評判を落とさせるために濡れ衣の資料を掲載し、「ニセの犠牲者のブログ記事をつくり（彼らが評判を落とさせようとする人物の犠牲者を装い）、フォーラムや伝言板に「ネガティブな情報」を掲載している。

そのほかの戦略としては、性的な“蜜の罠”があり、社会的なネットワーク・サイトの写真を改変し、eメールやテキストを、標的人物の同僚、隣人、友人などに送っている。

9・30 : 「連邦準備銀行が生き残るために、年8兆ドルを“借りる”（印刷する）」

<http://davidstockmanscontracorner.com/uncle-sams-8-trillion-annual-debt-churn-why-washington-is-pertrified-of-honest-interest-rates/>

私は、この見出しが完全に間違いじみて見えることを知っている。しかしこれは間違いのない事実である。

アメリカ政府は、年に約8兆ドルを借りている。あなたはやがて、証拠となる確実な数字を見ることになる。

国債を論ずるとき、人々は12カ月ごとに増える額だけに焦点を当てる傾向がある。

最近私が書いたように、アメリカの国債は 2014 会計年度に、1 兆ドル以上増えている。

10・3：「ハッカー攻撃が、10 の金融機関の実態を暴く」

<http://dealbook.nytimes.com/2014/10/03/hackers-attack-cracked-10-banks-in-major-assault/>

8,300 万以上の家庭やビジネスに触れた、JP モーガン・チェイスへの巨大なサイバー攻撃は、米企業への最も深刻なコンピューター侵入の一つだった。

<http://dealbook.nytimes.com/2014/10/02/jpmorgan-discovers-further-cyber-security-issues/>

<http://dealbook.on.nytimes.com/public/overview?symbol=JPM&inline=nyt-org>

もう一つ悩みの種は、9 つの他の金融機関——これまでに報道されていない数字——もまた、同じ海外のハッカー集団によって侵入されたことである。

ハッカーたちは、ロシアから操作していると考えられ、ロシア政府の高官と、少なくとも緩いつながりをもっているらしい——と、この問題についてブリーフィングを受けた人々は言っている。

10・4：「カリフォルニアに対する気象戦争が激化」

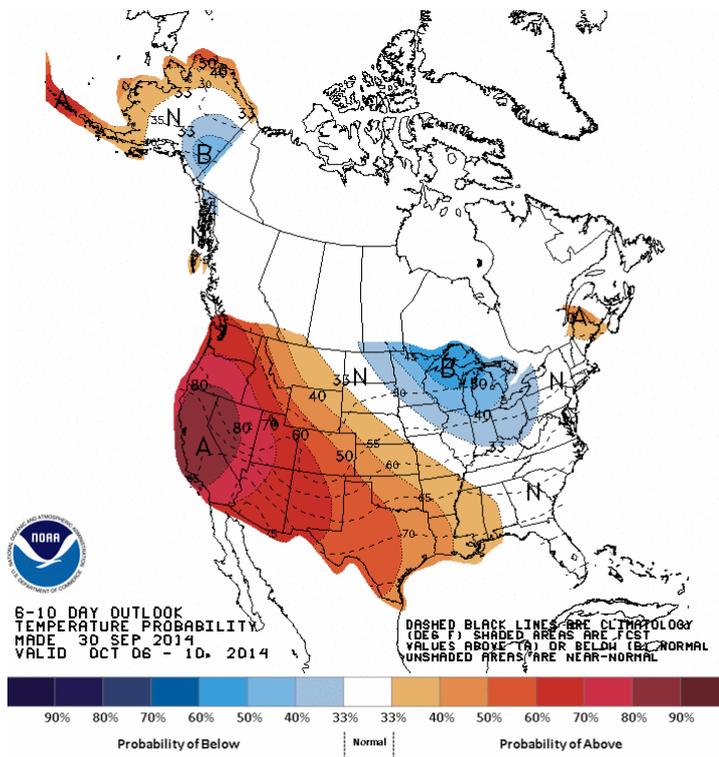
<http://www.geoengineeringwatch.org/weather-warfare-assault-on-california/>

気象操作をする者たちが、記録破りの暑さと干ばつで、カリフォルニアを叩き続けている。気象学上、下のような地図は歴史的に前例がない。

気象操作によってできることは、一つの地域を干上がらせながら、別の地域を一時的に冷却することである。ジオエンジニアたちは、熱さと干ばつの絵図目標のもとで、カリフォルニアを料理することができ、現にそうし続けている。

気象学者たちは、「馬鹿ばかしく弾力性のある尾根」という言葉を造語して、人工的に HAARP によって作られた高気圧を、西海岸上に固定しておくやり方を説明している。

下のような地図は、かつての“黄金の州”のちょうど真ん中に、燃えるような熱の的の眼を置くというメッセージを意図したものだろうか？



10・5 : 「Ben Affleck: ハリウッドには、CIA のスパイがいっぱい」

<http://sgtreport.com/2014/10/ben-affleck-hollywood-is-full-of-cia-agents/>

10・5 : 「隠れた政府グループが、JF ケネディ、ウォーターゲイト、イラン・コントラ、それに9・11をつなぐ」

<http://whowhatwhy.com/2014/10/05/the-hidden-government-group-linking-jfk-watergate-iran-contra-and-911/>

10・7 : 「主導的なドイツのジャーナリストが、CIA のために働き、世界戦争を後押ししたと明かす」

<http://www.infowars.com/leading-german-journalist-cia-media-pushing-for-world-war/>

ドイツ最大の新聞の一つ、フランクフルト・アルゲマイネの前編集長 Udo Ulfkotte が、CIA のために働いていたことを明かした。

「私は約 5 年間ジャーナリストでしたが、私が学んだのはウソをつくこと、裏切ること、大衆に真実を語らないことでした」と、ウルフコッテは RT に語った。

「私は中央情報局（CIA）の支援を受けていました。なぜか？ それは私が親米家だからです。」

彼が、金持階級に支配された企業メディアについて語る決心をしたのは、ヨーロッパでの戦争を恐れたからだった。

「ドイツとアメリカのメディアは、ヨーロッパの人々にも、ロシアにも戦争をもたらそうとしています。」

「今、我々は引き返せないところまで来ています。だから私は立ち上がって声を出そうとしているのです。・・・私が過去にやってきこと、人々を操縦し、ロシアを敵視するプロパガンダを行うのは、正しいことではありません。」

10・8：「Michael Hastings が殺されたのは、テロを資金援助する 1 万 9,000 のスイス銀行口座を暴こうとしたため」

<http://beforeitsnews.com/alternative/2014/10/this-is-why-michael-hastings-was-murdered-19000-swiss-bank-accounts-that-fund-terrorism-this-also-explains-why-holder-stepped-down-3041558.html>

10・26：「冷戦中、米スパイ局が 1,000 人のナチスを利用」

<http://www.nytimes.com/2014/10/27/us/in-cold-war-us-spy-agencies-used-1000-nazis.html?ref=world& r=3>

ワシントン——第二次大戦後の数十年間、CIA や他のアメリカの部局が、少なくとも 1000 人のナチ党員を、冷戦スパイや情報提供者として雇用した。

1990 年代の最近まで、政府と、まだアメリカに住んでいた若干のナチスとの絆を、彼らが隠していたことが、新しく公開された記録やインタビューから判明した。

10・28：「ホワイトハウスのネットワークに、サイバー活動と思われるものが見つかる」

<http://news.yahoo.com/suspicious-cyber-activity-white-house-detected-addressed-223554426.html>

ワシントン（ロイター）——サイバー活動と思われるものが、ホワイトハウスで用いられているコンピュータ・ネットワークに発見され、これに対する処置が取られた、とホ

ホワイトハウス高官が明らかにした。

この高官は匿名条件で、この活動の容疑者の名は言わなかったが、その標的は、大統領執務室の係官の使う、極秘扱いを解かれたコンピュータ・ネットワークだと説明した。

11・18：「我々はナチスのおかげで月へ行けた。レーガンのホワイトハウスが彼らを米国内に留めた」

[http://www.huffingtonpost.com/2014/11/07/operation-paperclip\\_n\\_6123746.html](http://www.huffingtonpost.com/2014/11/07/operation-paperclip_n_6123746.html)

ワシントン——彼らは何年間も米国内で生活した——彼らが殺そうとした人々から何千マイルも離れて。

彼らは、アメリカの第二次大戦後の科学発達のかなめ石として奉仕しながら、NASAのために働き、我々のロケットの発達に貢献した。そして称賛を受けながら、彼らの恐ろしい過去を、アメリカの宇宙飛行士たちからこっそり隠した。

これらはアメリカへのナチ生体移植である。科学者、学者や思想家が、恐ろしい残虐行為で一杯の履歴書にもかかわらず、米政府に雇用されていた。

そしてNYタイムズ記者 Eric Lichtblau が新しい本で暴いたように、彼らの天才を非常に価値の高いものと考えたワシントン政府が、彼らの恐ろしい過去の結果から、彼らを保護するようにした。

11・18：「ドイツが、ドルでなく中国元で直接の取引を始める」

<http://rt.com/business/206447-frankfurt-first-yuan-clearing/>

ヨーロッパの会社は、今、中国元で取引の決済をする機会を得ている。

フランクフルトの「バンク・オブ・チャイナ」が、初めてヨーロッパで元の手形交換を行った。

最初にドル交換をする必要がないので、取引の経費がカットされることになる。（すべての取引は、第二次大戦以来現在まで、ドルに替えて行わねばならなかった。）

10 以上のドイツの地域および国際銀行が、フランクフルトのバンク・オブ・チャイナに口座を開いている——ドイチェ・バンク、Commerzbank, DZ Bank AG, Landesbank

Hessen-Thueringen Girozentrale など。

12・3：「米政府は、特許を横取りする秘密のシステムをもっている」

<https://www.yahoo.com/tech/the-u-s-government-has-a-secret-system-for-104249688314.html>

企業家も既成の会社も同様に、米特許・商標局に出願することで、彼らの発明品を法的に保護してもらえる。

しかしこの特許局は、ある秘密のシステムを用いて、特定の 出願物件の認可を差し止めることができる。

新しく公表された文書によると、この部局は、知的財産権を評価し保護する役目をもつものだが、論争のある、または不都合な特許を延期するための、隠れたシステムをもっている。(DW：“認められた”発明でなければ、日の目を見ることができない。)

2・10：「Veterans Today 誌が、プーチンが9・11の衛星証拠の公表を準備しているという証拠を確認」

(編集者注：“特別の兵器”を用いた、世界貿易センターの統御された解体を証明する、ロシアの衛星による証拠が、モスクワ訪問中のVT編集長によって閲覧された。)

下の記事は、アメリカで公表するように我々に転送され、[プラウダの]ロシア語から翻訳されたものである。2015年2月7日付)

**モスクワ (プラウダ)：**米露の関係が冷戦以来、最悪の状態に達しているにもかかわらず、アメリカの専門家たちは、プーチンがオバマにかけているトラブルは、まだ小さなものだと思っている。

アナリストたちは、これは「嵐の前の静けさ」だと考えている。

プーチンは一度しか攻撃しないが、攻撃するときは強烈なものになるだろう。

ロシアは、アメリカ政府と情報局が、9月11日の攻撃に関わっていたことを示す証拠を準備している。

証拠のリストには、衛星写真が含まれている。

この公表された資料は、米政府が 9・11 攻撃の共犯者であったこと、そして世論の操作に成功したことを証明することができる。

この攻撃は米政府によって計画されたが、代理者を用いて実行された。これは、アメリカと米国民に対する攻撃が、国際テロリズムの侵略行為であるように見せるためである。

自国市民を騙しかつ殺した、そもそもの動機は、アメリカの石油会社と中東の国家企業の利益を図るためであった。

この証拠は十分に説得力をもっているから、米政府の支持する公的な 9・11 物語のウソを完全に暴くだろう・・・

## 我々は同じ話をずっと聞いていた

話を続ける前に指摘しておきたいのは、これが **Veterans Today** に載る 2 か月以上前に、我々自身のインサイダーたちが、同じデータをリークしていたことである。

ここで言われていることの大筋——つまり、ロシアがある同盟を率いて、陰謀団にとって致命的なビデオ証拠を準備しているという話——は、ここ 2、3 年も前からこのサイトで論じられてきた。

話に聞いていた通り、「同盟」は、ビデオ監視、音声監視、衛星写真、その他これを立件する数々のデータを、丹念につなぎ合わせてきた。

エリートについての超危険なビデオ——サタン祭儀を含めて——もまた、組織的に収集され、最終的なディスクロージャー（一斉開示）に備えて、アーカイブに収められている。

実は、我々の聞いているところでは、米軍の 40% がサイバー戦士として隠れて仕事をしており、このときに備えて、監視データを集め整理している。

## 詳細な証拠が得られている

よろしい、深呼吸をしよう。これらのリンクをより大きな物語にまとめて糸に通す、これ以

上のテキストがなかったとしても、これはかなり強烈な話である。

あるナチの悪魔的陰謀団がアメリカを利用して、他者を攻撃し、金融システムを支配し、何十億の人々を殺そうとしていると考えるのは、控えめに言っても、ひどく不快なことである。

もっと驚くべきことは、プーチンがある国際的同盟を統率して、この陰謀団の金銭供給路を締め上げ、コンピューターをハックし、その悪事を暴こうとしていることである。

証拠はこの同盟に有利に展開し、我々を解放すべく、それが及ぼす作用は圧倒的である。

それはNYタイムズのような、主要なニュース媒体を通じても現れつつあり、「アイアンマン3」「キャプテン・アメリカ：ウィンター・ソールジャー」「オブリビオン (忘却)」「エッジ・オブ・トモロー」といったトップ映画にも現れている。

[http://www.nytimes.com/2014/12/25/world/europe/oils-swift-fall-raises-fortunes-of-us-abroad.html?\\_r=0](http://www.nytimes.com/2014/12/25/world/europe/oils-swift-fall-raises-fortunes-of-us-abroad.html?_r=0)

私が強く勧めるのは、我々の前のメガ記事 Cosmic Perspective on the Defeat of the Cabal で、そこには、「同盟」とその計画を明らかにする映画の詳しい説明がしてある。

<http://www.divinecosmos.com/index.php/start-here/davids-blog/1170-cabal-defeat>  
2014/11/11 「陰謀団敗退の宇宙の見通し (I)」、11/17 「同 (II)」、11/28 「同 (III)」

この記事は現在、35 万以上の特別の閲覧記録を得ている。したがってこれは、真相を知っている多くの人々にかかなりのインパクトを与えた。

このデータを最も強く攻撃する人々は、通常、カネをもらった政府の回し者か、ショッキングな真実に直面するより、そのメッセンジャーを攻撃する方が気持ちがよいと感ずる“懐疑派”である。

## これは必要な変化であり…平和的に進むだろう

古い制度が現実的に終わるまでは、我々の惑星のより大きな癒しは起らないことを、忘れないでいただきたい。

だから、あなたがこのような出来事を、“悪いニュース”として見るように条件づけられていても、それはまさに正反対である。

生命を絞め殺して、我々の惑星から追い出そうとしている者たちの手が、やっと離れようとしている。

世間の“恐怖ポルノ”は、我々が壮大な混沌に向かっており、ひとたびそれが起れば飢餓と苦痛が始まる、と我々に思わせようとしている。しかしこれは高度にあり得ないことのように思える。

私はある程度の非常事態への備えはしている。しかし狂ったように、水や食料をストックしておくつもりはない。おそらくこの事態は、そんなふうには起らないと思われる。

大衆が最終的に真実に直面したとき、平和な解決が直ちに起るように、非常に多くの配慮がなされている。

## 彼らは橋を爆破しようとした

この平和的な抵抗運動には、我々が“神の介入”と考えたくなるものが関わっており、「陰謀団」が組み込んだ、広範囲な種類の致命的な仕掛けが、食い止められている。

一つの例として、アメリカは、「アイゼンハワー州連絡システム」(**Eisenhower Interstate System**)に基づいて、アメリカを第二次大戦式の陸の侵略から守るために、すべての主要な橋に爆発物を組み込んだ。<https://www.fhwa.dot.gov/interstate/homepage.cfm>

このシステムには、アメリカの、長距離をつなぎ、Iの字で始まるすべてのハイウエーが含まれる。

多くの場合、ハイウエーは最も深い峡谷や谷間を渡るように設計され、橋をかけざるを得ないように考案された。

現在でも、技術者たちが穴を掘り、これらの橋に“安全探知機”を取り付けている。これらの探知機は、温度、湿度、圧力破面などを分析しているが、これがすべてではない。

そこにはバッテリー操作による wi-fi システムがあり、橋を完全に破壊する爆発装置が組み込まれている。



2007年のミネアポリス橋崩壊は、次の大きな崩落の前に、このシステムが作動するかどうかを確かめるフィールド・テストだったと思われる——そして確かにそれが起こった。

<http://www.nytimes.com/2007/08/02/us/02bridge.html>

それぞれの州の知事は、橋を無線で爆破する、公的に承認された暗号を持っている。万一そんなことが起れば、アメリカは完全に麻痺状態に陥るだろう。

我々の食糧供給は、これらの陸をベースとする配給経路が確保され、トラック輸送が可能なことを要求している。

これまでにそんなことが起こっていないのは、もっぱら「同盟」の愛国的な努力と、我々を保護する善意ある ET のおかげである。

我々はこれを、2011年の Disclosure Imminent? Two Underground Bases Destroyed で論じた。 <http://divinecosmos.com/start-here/davids-blog/975-undergroundbases>

Cf. 2013/1/8 (post-2012 problem 最下段) 「ディスクロージャーは間近か？」

「陰謀団」はこの計画がうまくいくことを必死に願っていた。もし可能であったら、すでに実行しているであろう——しかしそれは阻止された。

## なぜ、そんなことをしようとする者があるのか？

なぜ、“権力者（だった者）”はアメリカを跪かせようとするのか？

単純な答えは、彼らが激しい怒りをもち、憎しみに満ちた人々だということである。

ソシオパス症候は、人々に人為的に植え付けることができる。ほとんど誰でも、もしひどくかつ一貫して虐待されれば、人格破綻するだろう。

我々の大多数は、（あなたが生まれる前から続いている）可能な最も恐ろしい方法によって、組織的にあなたを虐待するグループの間で育てられるということが、どんなものであるかを、ほとんど想像することができない。

これらのグループの人々が、純粋な善人が存在し得ると考えることは、ほとんど不可能になる。

彼らが見たすべて、彼らが知ったすべては、欺瞞、ウソ、悪、それに野蛮な虐待である。

このような症例においては、あなたの拷問された心は、正常を保とうとして、そのグループとの絆を強める。

## ストックホルム症候群をもった、非常に強力なグループを想像してみよ

極端な虐待に対するこの反応は、ストックホルム症候群と呼ばれ、誘拐者と恋に陥った被誘拐者にちなんで名づけられたものだ。

そうなったとき、あなたはグループとの絆を結ぶ。あなたは、彼らがあなたの中に築いた憎しみを受け入れ、それを他のすべての人に投影する。

すると、あなたのグループ以外のすべての人間が、邪悪で、軽蔑すべき、陰険な脅威となり、抹殺すべき存在になる。

地上の何十億という人間を殺すのは、自分たちを滅ぼそうとしていると思えるウイルスから“選ばれた者たち”を守るのと、全く変わらないことになる。

## ネガティブなグループは常にかんしゃく状態にある

ところで、アメリカの橋のすべてを爆破して、我々を集団虐殺し餓死させたいと思っている、かつてのエリートの話に戻ろう。

あなたがある子供に、彼の好きな玩具で遊んではいけないと言い、それを取り上げたとしたら、彼は怒って、あなたが背を向けた瞬間にそれを叩き壊すかもしれない。

しつけのよい子供でさえ、そんなかんしゃくを起こすことがある。

そこで、あなたが誰か、激しい情緒的苦痛をもつ人と一緒にいれば、その人物は極端な破壊行為に及ぶ可能性がある。

盲目的な怒りの中で彼は客観性を失うだろう。彼は自分に反対する、誰でもすべての者に殴りかかるだろう——たとえそれが、単に礼儀ある不賛成であっても。

有難いことに、このグループが彼らの計画を実行するのを組織的に妨げている、“良い者たち”が存在する——そしてそこに「同盟」が含まれる。

(以下、省略)